

## 「第19回 トヨタ計測ソリューションフェア'15」出展報告

2015年9月9日～11日、トヨタ自動車株式会社 本社本館ホールにて、「第19回 トヨタ計測ソリューションフェア'15」が開催。本展示会の今年度テーマ「つき抜ける！技術を支える計測ツール」の下、その場で最新アイテムを「見て」、「触って」、「体験できる」技術展として、弊社も出展しました。主にトヨタグループの皆様がご来場される本展示会には、優れた技術を持つ企業173社が出展し、台風18号の影響があったにもかかわらず3日間の総来場者数は4788名、例年通りの盛況振りとなりました。

弊社ブースでは、三菱モービルマッピングシステム（MMS）による高精度三次元点群データを活用した運転支援用システム高精度地図データベース「ADASmap®」を軸に、安全運転支援、自動走行の開発・研究をご紹介します。加えて、高精度点群データを利用した運転シミュレーター用地図データのご提供を重ねてご案内しました。主にシステム系、先行開発等に関わられる多くのお客様にご来場賜りました。

弊社の高精度三次元計測・解析技術が、より安心して快適な自動車環境の実現に向けた一助となるべく、これからも研鑽に努めて参ります。

自動走行、運転支援用高精度地図データベース。走行レーン、信号機、白線情報など自動車に取り込むことを前提とした車専用地図。



展示会場では弊社が地図で参加した名古屋市守山区での自動走行実証実験などもご紹介しました。

展示会は3日間の来場者数が4788名と台風の影響があったにもかかわらず例年通りと大盛況。弊社ブースにも多くのシステム、先進技術を業務とされる方々にご来場いただきました。

### 【免責とお断り・注意事項】

本通信及び弊社ホームページの記載事項は、株主・投資家の皆様お客様に対し、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。掲載内容により被った損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。